

令和5年11月24日
赤羽会館小ホール
午後2時00分から

令和5年度赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会
第3回幹事会 次第

1. 開会 森岡会長挨拶

2. 議題
 - (1)「総会」の振り返りについて

 - (2)今後の協議会・幹事会運営について

3. その他

(配布資料)

- 資料1 令和5年度 赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会
総会 振り返りアンケート 意見一覧
- 資料2 まちづくりニュース（事務局案）
- 資料3 赤羽PRESS 第2号

＜令和5年度 赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会総会 振り返りアンケート 意見一覧＞

回答 No.	Q2. 総会の感想	Q3. 「まちづくり提案」が不承認になったことについて	Q4. 今後の「まちづくり提案」の取り扱い、今後の進め方について
1	<ul style="list-style-type: none"> 運営面で議長団と事務局との連携がうまくいっていなかったと思います。また、採決でなく拍手でよかったと思います。前回まで、議案の採決は拍手だったと思います。 幹事の発言機会をつくってもよかったと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 幹事会の中でも出されていない意見「次善の策」についてもうすこし慎重に議論すべきだったと思います。 再開発が浮上してから、協議会の内容が大きく変化してしまった。交通部会では駐輪問題の解決と駅前の整備など話し合ってきたが、もうどこかに行ってしまった。 	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり≠再開発について、基本的な考え方を整理すべきだと思います。まちづくりの中に再開発を位置づける必要があります。改めて東口地区のまちづくりをゾーニングをやりなおして検討したら良いかと思えます。 まちづくりの中心は、公園、学校、公共交通だと思いますので、これらの検討も必要だと思います。
2	<p>意見の交換ができず一方通行的発言が多くありやりとりが出来ない。例としてスマホを見ながら長く読みながら意見を述べる非常識な発言者など見られた。</p>	<p>採決の結果不承認になったのでまちづくり全体協議会の話し合いはしばらく見送らせた方が良い。</p>	<p>赤羽駅周辺まちづくり基本計画策定検討会の意見集約をまってから「まちづくり提案」はすすめた方が良い。</p>
3	<p>総会の参政権者は誰ですか？ 参政権者を赤羽地区一般区民にまで広げてしまったことが、混乱の原因だと思います。 9/4の会議は何かを決する「総会」ではなく様々な意見を聴取する懇談会にするべきだったと思います。 コロナで「まちづくり」の会議が進められず、まちづくりについて何らかの議論をまとめようと事務局は少々あせっている気がします。</p>	<p>「まちづくり提案」の中で、幹事会では「赤羽小学校は移転しない」「赤羽公園は公園設備をリニューアルして、区民に親しまれる公園にする」という方針が決まっていたにもかかわらず、後段で「方が一事情が変わったら、赤羽小学校を赤羽公園に移転する…云々」と、解釈できる文言を入れたことが「総会」を紛糾させたと理解しています。</p>	<p>そもそも、この「東口地区まちづくり」発足当時から「赤羽小学校移転」問題が論じられていますが、これまで様々なアンケート、グループワーク、懇談会で「赤羽小学校は移転せず現在地でコミュニティの核として建て替える」という方針が決まっていますから、今は粛々とその案を基に基本プランを（赤羽公園、赤羽会館も）練るべきと信じます。 さら「まちづくり」として、不便な駅前バス停問題、赤羽西口駅前広場（ピビオで歩・車交差）、赤羽南地区DNP工場跡地に建てられるマンション群と住民、それに伴う神谷地区の交通不便（イトライナー、メトロセブンの早期着工）に目を向け検討するべきと信じます。</p>
4	<p>全体的な意見として赤羽公園がなくなる、または、移転することの危機感を強く感じた。 私自身もそうですが赤羽公園は、住民の多くの方が今の場所での存続が必要としているからです。 北区では保育園の待機児童のため赤羽地区に園庭のない小さな保育園が沢山できました。 区の方ががんばっていただいたおかげで待機児童がほぼ改善され働きながら仕事をすることができます。 国をあげての少子化対策の一因になっています。 午前中は、園児が保育園同志予定を立て使い、午後は小学生が遊び、夕方には中学生が集まり会話を楽しんでいます。一日中区民が使う場所として陽が当たる今の場所が必要です。この問題がクリアされない限り同意は得られないです。</p>	<p>Q2の感想で記入しましたが赤羽公園の存続の危機感が不承認になった原因だと思います。 赤羽公園は存続と明記していないから不承認になったと思う。</p>	<p>赤羽小学校が風や陽当たりに関して環境が悪いので高層マンションを低層にしてみよう努力してほしい。 小学校の環境が守られるようお金をかけても努力してほしい。 公園が移転およびなくなる場合は、具体的にこのような目的で公園がなくなるおよび移転が理解されなければならない。 誰もがそれなら仕方ないと理解されなければならない。 今まで以上に区民の方との話し合いを重ねて理解されるまで続けまちづくりの計画を決定する。</p>
5	<p>初めて出席する、一般参加者を含めた中での総会とは、まとまりがつかないのでは。</p>	<p>あの様な形になって、決を取っても不承認なるのでは。</p>	
6	<p>総会に出していないので、はっきりとはわかりませんが全体協議会での決定事項を事情をあまり知らない人(想定外の多く人)に決議を取るのは無謀だと思う。 総会では全体協議会の決定事項を説明して、意見のみを聞き良い意見があれば検討する程度で良いのではないかと。</p>	<p>赤羽小学校を赤羽公園に移転の可能性をおおせたことが大きな原因だと思う。 赤羽公園は近所の人達の生活圏であり長年親しまれた公園であり同意を得るのは難しいので無いから。 ので赤羽小学校、第2地区、第3地区合同で開発をすれば未来に開ける開発ができると期待する。</p>	<p>赤羽東口地区は、北区での中では一番稼げる商業地区であり賑いのる街づくりを目指すべきである。 赤羽台地区は東洋大学、星美学園などがあり文教地区、東口地区は商業とカルチャーの街として開発し、子育て世代や若者世代を誘致し、将来的に駅前商店街や南口商店街に波及効果が出る様なまちづくりが出来たら良いと思います。 その為には赤羽小学校、第2地区、第3地区合同の開発がとって重要で不可欠だと思う。</p>
7	<p>総会の内容が大きく多いためか発言者が単に自己主張する場になっている印象を強く感じました。</p>	<p>方向性や、主旨の説明がはっきりしないため、やむを得ないかと思えます。</p>	<p>商業地域ばかりでなく、住宅エリアの人口もふえており、防災にに向けてのことも対応もしていただきたい。例えば唯一の空地である旧赤羽警察署跡地の防災公園化の推進です。</p>

<令和5年度 赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会総会 振り返りアンケート 意見一覧>

回答 No.	Q2. 総会の感想	Q3. 「まちづくり提案」が不承認になったことについて	Q4. 今後の「まちづくり提案」の取り扱い、今後の進め方について
8	もっと時間をかけて、丁寧に回答しながら進めてもいい気がしたが、結果は変わらなかったと思う。	たくさんの意見を聞いたうえで、皆に配慮した提案だと感じていたので、たった一か所が気にいらないと否決されるのは残念。	再度、住民の意見を聞いて作り直しても、基本計画策定検討会のほうが先に進んでしまいそうなので、あまり現実的な意味は無いかなと考えている。 同じようなことをやるとしても、今の総会のルールでは重要な議題は結局決められないので、代表者のみが議決権のある組織を作り直すしかないのではないか。
9	<p>前回の質問の答弁 ※避難所を作る 東京都でも作るのが困難なのに区で新たに作ることは困難である。 小池知事も各個人で避難場所の確保を要請している。 区で使用できる施設は、区立の小学校 中学校で、もう既に避難所として活用している。土地の取得が困難である。 今は、放送でも避難時自分の、命を守る行動をとインホメーションしている。 東京都は一極集中で、人が多すぎる。 ※赤羽小学校を移転し跡地に音楽堂の、建設を 北とびあに間げきのステージがある。 小学校なので、夜間の立ち入りができず、良い環境が保たれている。 予算の問題も。箱物は、建てた後の維持管理に、お金に係る。 自由に出入りができたら、一番街で飲んだやからが、出入りしたばこの吸殻やゲロやトイレ汚く使用するなど、風紀も乱れる。 劇場は二つも要らない。 ※赤羽公園の像の保護 防災公園の機能を。兼ね備えた方が。 竈 仮設トイレの建設が、優先だろう。</p> <p>すき勝手な、事ばかり言ってるんじゃないぞと、言ってやりたかった。</p>	残念だ	総会の頻度を多くする
10	残念な内容でした。 それぞれの意見は単体では、なるほどと思える部分や興味深いものもありましたが、組織的な動き（個人の発言に対して、そうだ！そうだ！などと不自然に同調する）が感じられ、とても違和感を感じました。後で、とある政党の動員があったと聞き、ひどい話だと思いました。 ※あんな荒れた講事がまとまるのか！と懸念しておりましたが、うまくまとまっており感服しました。おつかれさまでした！	そもそもあの会、まとめの資料は「承認」をとりに行くものだったのか？ 内容に矛盾がある、といった指摘があり、一方で、様々な意見があることを反映したもので矛盾があるのはおかしくない、といった流れがあった。 本来の承認行為は〇〇に対して是非を問うものだとすると、「色々やっている、いろんな意見がある」ことを承認するということになる。つまりは本質的には「報告会」とした方が自然ではなからうか。	森岡会長の支えになりたいです。 議長に一任します。 草の根的な活動、ヒアリングや一定の話し合いは完了したものと、あとは行政サイドで巻き取るしかないのでは？もう一度、市井の協議会を展開したところで、きっとまとまったとしても、悪意によって潰される、てなことをどうしても考えてしまいます。
11	私は小学校の移転に反対する人たちが多数こそとばかりに出席しているのではと感じました。残念ながら、児童のことを主体的にとらえた意見はあるようで無いと感じました。要は、いい悪いは別として再開発事態に反対している人々が多数参加したように感じます。	まちづくり提案というよりは、再開発、小学校移転提案が主です、というように私も感じていました。そのの所を指摘され、今までオブラートに包んでいたものが表面に出てきた結果だと思います。デモクラシーを大事にするため、この結果は重く受け止めないといけないと思います。ただ残念ながら、反対の意見は大きな声に聞こえますが、大多数の人々は無関心なのも事実だろうと感じます。	私はまちづくり全体協議会はもはや必要ないと思います。赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画策定検討会があるなら、なにをやれというのですか。そういう屋上屋を重ねるのですから全体協議会はいらないでしょう。区のごういう行動は信頼を損なうとしか言いようがないと感じます。私自身まちづくり全体協議会は名ばかりで、再開発、小学校移転協議会だったのでと実感し失望しています。
12	自己の主張以外認めないという姿勢の方々が多く参加され、あまり建設的な議論が出来なかった事を残念に思います。	全員参加型の検討方法なので、あり得る結果だと思います。区でも認めているように「幹事会中心の運営」だった訳だから仕方ないと思います。	「基本計画策定検討会」が設置された現在、その結論を待ってから、それを実現する為の手法を検討する事を活動内容にすれば宜しいのではないかと。

赤羽駅東口地区 まちづくりニュース

令和 5 年 12 月

発 行：赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会



※画像はすべて権利者の許可を得て掲載しています。

赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会 総会

赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会では、にぎわいのある住みやすいまちづくりを目指して活動を行っています。

令和5年度の総会は、令和5年9月4日（月）に赤羽会館大ホールにて開催され、当日は104名と多くの方に参加いただきました。

～総会当日の議題～

- 令和5・6年度協議会人事（案）について
- 「まちづくり提案（案）」について
- 令和5・6年度活動方針（案）について



いずれの議題も「赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会会則」に則り議決が必要なため、採決を行った結果、「令和5・6年度協議会人事（案）」につきましては、下表のとおり承認されました。また、ここ4年間の協議会活動の集大成としてまとめてきた「まちづくり提案（案）※」につきましては、不承認となり、「令和5・6年度の活動方針（案）」については、審議を見送りました。（「まちづくり提案（案）」の今後の取り扱いにつきましては、裏面をご確認ください。）

※「まちづくり提案（案）」の全文及び当日の記録概要につきましては、右記 QR コードまたは下記よりご確認ください。

東京都北区公式ホームページ（赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会 総会）

<https://www.city.kita.tokyo.jp/machisuishin/jutaku/toshikekaku/machizukuri-02/310327akabanesoukai.html>



令和5・6年度 赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会体制（敬称略、順不同）

赤羽 駅東口 地区 まち づく り 全 体 協 議 会	会 長：森岡 謙二（赤羽スズラン通り商店街振興組合）		
	副会長：山本 倫行（赤羽東口駅前通り商店街振興組合）		
	顧 問：尾花 秀雄（赤羽中央街商店街振興組合）		
	幹事：高野 巨雄 （赤羽東口駅前通り商店街振興組合）	幹事：鈴木 邦彦 （赤羽本町通り商店街）	幹事：川嶋 茂 （赤羽二丁目自治会）
	幹事：福田 博行 （赤羽一番街商店街振興組合）	幹事：伊原 勝利 （赤羽東口駅前商店会）	幹事：鈴木 徹 （赤羽二丁目自治会）
	幹事：山縣 純子 （赤羽一番街商店街振興組合）	幹事：廣瀬 周嗣 （赤羽東口駅前商店会）	幹事：石井 勇介 （赤羽小学校PTA）
	幹事：小嶋 晋悟 （赤羽一番街商店街振興組合）	幹事：麻生 貴子 （赤羽OK横丁商店会）	幹事：平塚 美和子 （赤羽小学校PTA）
	幹事：秋廣 教雄 （赤羽スズラン通り商店街振興組合）	幹事：山中 邦彦 （赤羽自治会）	幹事：川口 恵美 （赤羽小学校PTA）
	幹事：富田 好明 （赤羽スズラン通り商店街振興組合）	幹事：石井 清貴 （赤羽自治会）	幹事：桑子 淳 （赤羽岩淵中学校PTA）
	幹事：熊倉 光広 （赤羽スズラン通り商店街振興組合）	幹事：石澤 隆二 （赤羽南自治会）	幹事：高儀 久子 （赤羽岩淵中学校PTA）
	幹事：丸野 由美子 （赤羽スズラン通り商店街振興組合）	幹事：坂東 里江子 （赤羽南自治会）	以上
	幹事：川崎 貴子 （赤羽東口京浜通り商店街）	幹事：若旅 孝雄 （赤羽二丁目自治会）	

幹事の任期は会則により原則2年間となっていますが、コロナ禍の影響で生じた改選時期のずれを解消するため、今期は令和6年度末までの約1年半を任期とします。

令和5年度前半の活動報告

令和5年度 まちづくり懇談会の開催

- 第1回：5月19日（金）午後7時～9時10分
- 第2回：5月20日（土）午前10時～11時40分

「まちづくり提案」に盛り込むまちづくりへの想いを、広く地域の皆様から集めるために、「まちづくり懇談会」を、上記2日間に渡って開催しました。

まちづくり懇談会では、両日とも4班のグループに分かれて、2つのテーマ（①「今後の地域の拠点施設としてのあり方」、②「地域の拠点施設と連動したまちづくりの方向性」）のもと、活発な意見交換を行いました。

当日は、令和4年度に実施した幹事会ワークショップやまちづくりワークショップと同様の意見のほか、新しい視点での意見も出されました。詳しくは、下記QRコードまたはホームページをご確認ください。



東京都北区公式ホームページ（赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会 まちづくり懇談会）

<https://www.city.kita.tokyo.jp/machisuishin/machidukuri/akabanehigasiguchikonndankai.html>



令和5年度幹事会（まちづくり提案策定に向けて）

- 第1回幹事会
令和5年6月21日（火）午後2時～3時50分
- 第2回幹事会
令和5年7月21日（金）午後3時～4時50分

まちづくり懇談会の振り返りを行うとともに、これまでの活動経過を踏まえながら意見交換し、総会に諮る「まちづくり提案（幹事会案）」を取りまとめました。



「まちづくり提案（案）」の今後の取り扱いについて

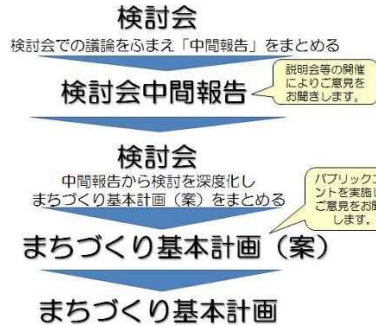
幹事会での議論を踏まえて、記載します。

- ◆ 問合せ先：赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会 事務局
北区まちづくり部まちづくり推進課 ☎ 03-3908-9154（直通）

東京都北区公式ホームページ（赤羽駅東口地区のまちづくり）
<http://www.city.kita.tokyo.jp/jutaku/toshikekaku/machizukuri-02/index.html>



◆まちづくり基本計画の今後の進め方◆



「まちづくり基本計画」の策定については、今後の検討に合わせて、検討内容の「中間報告」をまとめ、地域住民の方々から広くご意見をお伺いする予定です。時期につきましては、この『赤羽PRESS』でもご案内いたします。

※検討会の記録は、検討会終了後1か月を目途に北区のホームページに掲載していますので、こちらもご覧ください。



市街地再開発事業の各地区の現況について

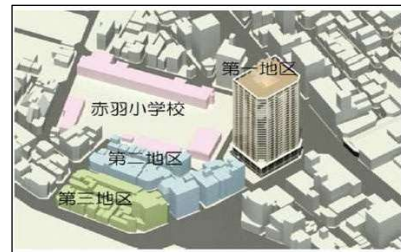
■赤羽一丁目第一地区

◎令和5年9月29日、赤羽一丁目第一地区市街地再開発組合設立発起人から北区長あてに、市街地再開発組合設立認可申請書の提出(東京都知事への進達願)があり、令和5年10月16日、北区長から東京都知事あてに、市街地再開発組合設立認可申請書を提出しました。

《今後の予定》

- ◎令和5年度中に赤羽一丁目第一地区市街地再開発組合が設立される予定です。
- ◎施設建築物(再開発ビル)は、令和11年6月に完成する計画となっています。

▼赤羽一丁目再開発区域周辺配置図(手前がJR赤羽駅東口)



■赤羽一丁目第二地区・第三地区

◎令和5年4月より、「赤羽一丁目第二地区・第三地区意見交換会」をこれまで3回開催し、両地区の検討状況の情報共有や意見交換を図るとともに、両地区にとってより良い土地利用のあり方について検討を深めています。

※北区のホームページでは赤羽一丁目の再開発事業に関する情報を掲載しています。これまでの経過や各準備組合が発行している再開発ニュースなどを掲載していますので、あわせてご覧ください。



お問い合わせ先

北区まちづくり推進課(担当:菊池、梶川、福島、黒子)
電話:03-3908-9154 Fax:03-3908-2244
E-mail:machisuishin-ka@city.kita.lg.jp

赤羽駅周辺地区 まちづくりだより

赤羽PRESS 第2号

令和5年11月 発行:北区まちづくり推進課

北区ホームページ検索
🔍『赤羽駅 まちづくり』



『赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画』の検討に着手しました!

区内屈指の賑わいの拠点である赤羽の駅東口周辺では、現在住民発意による市街地再開発事業の事業化の検討が進んでいます。区ではこれを契機として、今後見込まれる大規模な土地利用転換を見据え、適切な土地利用を誘導し、秩序ある都市基盤等の整備を図るため、赤羽駅周辺地区の土地利用や、施設整備の方針等を令和6年度までの2年間をかけて「赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画」としてまとめます。

◆基本計画策定の目的◆

北区都市計画マスタープラン 2020

東京の北の商業拠点

利便性の高い、安心してくらせるにぎわいのあるまち「赤羽東」

《施策展開》

- ・赤羽一丁目市街地再開発事業に合わせた適切な高度利用の誘導と周辺環境の整備
- ・商店街における地域交流の場としての、にぎわいづくり 等

《土地利用の方針》

- ・都市中心拠点としてふさわしい利便性の高いにぎわいのある市街地の形成
- ・住宅を重点的に供給することで、居住地としても選ばれる市街地の形成等

赤羽一丁目地区の3つの再開発事業によるまちづくり

赤羽駅東口周辺地区の大規模公共施設施設の更新

- ❖ 赤羽一丁目の市街地再開発事業の事業化の動きを契機に、赤羽駅周辺地区のまちづくりを推進します。
- ❖ それに合わせて懸念される赤羽小学校の教育環境の確保や充実を図ります。
- ❖ 赤羽駅周辺の老朽化し更新時期を迎える大規模公共施設について、その効果的効率的な更新策を検討します。

この3つの項目を踏まえ、都市計画マスタープラン 2020 の実現を図るための、具体的な土地利用や施設整備の方向性、その実現方策や事業推進体制等をまとめるのが「赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画」です。

まちづくり基本計画の策定に向けて

★この『赤羽PRESS』では、まちづくり基本計画の策定に向けた検討状況などをお知らせしていきます。

「赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画」の策定に向けて、赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画策定検討会（以下、「検討会」）を設置し、検討を行っています。検討会の委員は、学識経験者をはじめ、地元関係諸団体、各地区準備組合、関連事業者及び北区関係職員により組織されており、様々な議論が行われています。

◆具体的な検討内容◆

●赤羽駅周辺地区は、区内屈指の商業集積地ではあるものの、老朽化した低層建物が密集していることや、緑やまとまったオープンスペースが不足するなどの「現状の問題点」を洗い出し、「取り組むべきまちづくりの課題」を解決するための「課題解決のためのミッション」を整理しました。

●「重点区域」(右図参照)のまちづくりについては、「個別建替えによる小規模なもの」から「小学校敷地を含めた大規模な開発」まで、複数のパターンが考えられることから、あらゆる視点から望ましい土地利用などの検討を行うため、考えられる様々なパターンを、下表のとおり「シナリオ」として整理しました。

▼まちづくりのシナリオ

	シナリオ1	シナリオ2	シナリオ3	シナリオ4	シナリオ5 (※)
民間敷地	従前の建物単位での更新 (地区計画による誘導)	小規模共同化による更新 (地区計画+共同化の誘導)	各地区単独で更新 (街区単位の再開発)	2地区・3地区を一体で計画 (街区を統合する再開発の実施)	2地区・3地区・小学校を一体で計画 (街区を統合する再開発の実施)
小学校敷地	個別建替え	個別建替え	個別建替え	個別建替え	
計画単位					

(※) シナリオ5では、小学校を個別敷地とするパターン、施設に複合するパターン、地区外に移転する3パターンを設定し検討しています。また、道路の形状については、暫定的に配置しています。

▼(一例) [防災]に関するミッションごとの「評価の視点」

●「取り組むべきまちづくりの課題」を解決するための「ミッション」について、「評価の視点(どのような視点で評価するか)」を設定し、5つのシナリオで比較し、赤羽駅周辺地区のまちづくりにおいて実現を目指すべき到達点について検討をしていきます。

ミッション	評価の視点
震災・水害に強い市街地の形成	迅速な不燃化・耐震化
	不燃領域率の向上・延焼遮断機能の形成
	区域内への緊急車両の進入
	歩行者の円滑な避難動線の確保
	まとまった一定規模の防災に資する空地の確保
	大規模洪水時の高台への避難経路の確保
	緊急時の垂直避難施設の確保
一時滞在施設としての空間の確保	

・対象区域について

赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画の対象区域は下記のように位置づけています。

- 3つの市街地再開発事業地区と関連性が非常に高い赤羽小学校を含んだ区域を「重点区域」(赤線枠内)
- 重点区域の事業からの影響や波及効果を期待する区域を「周辺区域」



◆検討会でのご意見◆

検討会では、委員から様々なご意見がありました。



まちの景観や人の流れが変わってしまうと赤羽らしさが失われてしまうのではないかと、住民は心配している。赤羽の魅力を私達で見つけて、もっと赤羽らしさというものを具体的に示して、住民の皆さんが安心してまちづくりができるように、検討していきたい。

老朽化した赤羽小学校、赤羽会館、公園の再編や具体的な配置や検討というのが重要になる。大規模な駅前開発に、学校や公園、公共施設まで含んでいるのは全国でも珍しい。商業施設への教育への活用の取り組みなど検討できるとよい。



検討会は住民の方々の方々の傍聴が可能となっており、開催前に北区ニュースで募集を行っております。



▲検討会の様子